

豊富な経験と実績  
総検査数(日本全体)の13%

CVICは、その卓越した心臓画像診断技術のために、近隣の東京大学、東京医科歯科大学、東京女子医大、慶應大学病院などの有名大学病院からも高い評価を受け、多くの患者紹介を受けています。2012年3月の実績では、心臓CT月間290件、心臓MRI月間220件の検査を実施。特に心臓MRI検査は日本全体の13%をCVICでおこないました。

研鑽と蓄積に努め  
さらなる進化に貢献します

経験の蓄積を高め、判断力、技術力を確かにすることで、CVICでは最良の診断を速やかに提供することが可能です。予約をとるだけでも2週間から1ヶ月、診断結果が出るまでには1ヶ月以上もかかる心臓画像診断を、迅速に処理。膨大な臨床データは幅広く研究開発に活用され、次世代の心臓画像診断の進歩にも貢献しています。



休診日：年末年始 不定休  
診療時間：8:30~18:00  
問合せ・電話受付：月~土 9:00~17:30

\*日曜・祝日は、電話での問い合わせは受け付けておりません。  
\*心臓の検査を受けたことがある方は、検査結果をお持ち下さい。  
\*詳細はWebサイトにてご確認ください。  
<http://www.cviclinic.com/>

ご予約：電話・Webサイトより承ります。

(クイックイイハート)  
フリーコール  
0800-9191810  
03-5206-5956  
ファックス 03-5206-5958

交通のご案内：

- JR飯田橋駅東口 徒歩5~10分
- 地下鉄B1出口 徒歩4~9分
- 都営バス「飯田橋」停留所 徒歩2~5分

\*駐車スペースはありません。公共交通機関のご利用をおすすめします。



STOP!  
ザ心臓病

心臓病で怖い突然死。自覚症状がなくても、突然の発作で死に至るケースが増えています。大丈夫と思っている方でも、ドックを受けることをおすすめします。

こんな人はぜひ検診を

- 肥満傾向にある。食生活の乱れが気になる。
- 糖尿病、高血圧、高脂血症を指摘されたことがある。
- 家族に狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、原因不明の突然死の人がいる。
- 喫煙経験がある。
- 狭心症、心筋梗塞、心筋症といわれたことがあるが自分の心臓を3次元で立体的に見たことがない。

医療法人社団



心臓画像クリニック飯田橋  
〒162-0814 東京都新宿区新小川町1-14  
飯田橋リープレックスビズ4F

心臓画像診断に特化  
スペシャリスト・チームCVIC

CVIC(心臓画像クリニック)では、心臓の画像診断に専門特化することにより、この分野での各スタッフの診断力、判断力、技術的信頼性を確かなものへと高めてきました。高度な画像診断技術を駆使し、画像に含まれる膨大な情報を正確に読み解くことができるスペシャリスト・チームとして、一人ひとりの患者様の診断に当たっています。

3Dワークステーションが  
複雑な画像解析を支える

人的パワーを充実させることと同時に、CVICでは画像解析用の7台のワークステーション・コンピュータを導入しています。これにより心臓に特化した迅速な画像解析を実現し、診断結果を速やかにフィードバックさせることが可能です。診療室にも設置し、3D画像をみながら検査後の一次的所見を解説することもおこなっています。



## 健康診断ではわからない 気がつかないうちに進む心臓病

健康診断や一般的な人間ドックで、心臓の状態を正確に知ることはできません。従来までは、カテーテルのほか、造影剤を利用したエックス線被ばくを伴うCTによる心臓検査しか選択肢がありませんでした。特にカテーテル検査は、手や足の動脈から心臓までカテーテルを挿入し、血管造影や心機能測定などの検査と同時に治療を行う有用な方法ですが、2～3日の入院が必要で、誰でもが手軽に受けるのは難しい検査です。

## 3Dの立体画像で心臓をみる CT・MRIで高度な診断が可能に

CTやMRIは医療のさまざまな分野で不可欠な診断方法となっていますが、心臓病の診断ではCT・MRIが十分に活用されているとはいえません。その理由として、動く臓器である心臓は画像診断のなかで最も難しく、対応できる人材があまりにも少ないことがあげられます。専門に特化した診断チームCVICなら、高度な画像診断技術を駆使し、心臓をリアルな立体画像や動画として観察し、心臓病を早期に発見することが可能です。

## 発作が起きてからでは遅い 定期的な検診のすすめ

日本人に多い狭心症と心筋梗塞。その原因の多くは生活習慣病からおこる動脈硬化です。心臓に酸素や栄養を送る冠動脈が、動脈硬化によって細くなり、血液の流れが悪くなったり、完全に詰まって心臓の筋肉が死んでしまうことで起こります。気がつかないうちに静かに進行し、命にかかわる危険な病気です。万が一発作が起きたときでも、受診が遅れないように、定期的に検診を受けることが大切です。

## CVICのドック・検診 より身体に優しいMRI検査

CVICの心臓ドックでは、「冠動脈MRI」検査をおすすめしています。MRIは放射線や造影剤を使用しない身体に優しい検査で、冠動脈の明瞭な画像が得られます。心電図や呼吸と同期して数回の呼吸停止をするだけで、約30分で終了します。安心・安全で、心臓ドックでは現時点ではベストな方法といえるでしょう。より詳しい検査をご希望の場合は、造影剤を利用しない低被ばくのCT検査を併用することで、冠動脈の石灰化の情報がわかります。

## MRI (Magnetic Resonance Imaging)

### 磁気共鳴画像検査

磁石と電波を使って体の内部を撮影する検査で、放射線による被ばくはありません。検査目的によって撮影方法を変えることで、さまざまな心臓の画像が撮像できます。

造影剤を使わなくとも冠動脈の小さな病変を鮮明に描き出し、心臓内の血液の流れや心臓の壁の動き、ポンプ機能の状態がわかります。造影剤を使った検査を行えば、心筋のなかのごくわずかな梗塞を見つけ出し、心筋の血行状態を画像化することも可能です。



1.5テスラ MRI  
東芝製「Vantage Titan」



## CT (Computed Tomography)

### コンピュータ断層撮影法

機械が体の回りを回転し、複数の方向からX線を照射して、輪切りの画像を連続的に撮影します。短時間できれいな画像が撮れるのが特徴で、冠動脈の石灰化(動脈硬化で血管が骨のように硬くなる変化)がどの程度進んでいるのかを調べるのに威力を発揮します。



マルチスライス CT エリアディテクタ CT  
東芝製「AquilionOne」

## 診断結果説明と診断レポート

検査終了後約30分から1時間で診断結果がわかります。撮影画像を使い、担当医が丁寧に説明し、疑問や質問にもお答えします。後日、撮影画像データと詳細な診断結果レポートを郵送にてお送りいたします。

